

博 物 館
学 芸 員 課 程

博物館学芸員課程(人文学部文化学科・歴史学科・理学部)

1 博物館学芸員課程について

博物館学芸員とは博物館で資料の収集、保管、展示及び調査研究、その他これと関連する事業についての専門的な業務を行う職員のことをいいます。博物館といっても、その種類は多岐にわたり、美術館、考古学、民俗・歴史関係資料館、郷土館、記念館、民芸館、自然史博物館、動物園、植物園、水族館、科学館及び天文館まで含まれます。博物館は代表的な社会教育機関のひとつでもあり、そこで働く学芸員はそれぞれの専門分野における研究者であると同時に、社会教育の専門家でもあるのです。

博物館法には、博物館に専門的職員として学芸員を置くことが定められており、それと同時に学芸員の資格についても詳細な規定が設けられています。この学芸員の資格を取得できるように、博物館法及び同施行規則に規定された「博物館に関する科目」を設けた課程が博物館学芸員課程です。博物館学芸員課程には「博物館実習Ⅱ」のように、学外の施設や関係者に協力を得なければならない授業科目もあります。したがって、課程の履修にあたっては学芸員を目指す固い意志と強い責任感が望まれます。

2 学芸員の資格取得方法

学芸員となる資格を取得するには、学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める「博物館に関する科目」の単位を修得しなければなりません（第5条第1項第1号）。この規定を受けて博物館法施行規則（文部科学省令）第1条第1項に「博物館に関する科目」が定められていますが、これに該当する本学開講の授業科目は、科目表1～3（p.112～114）のとおりです。

科目表1～3のうち、自分の学部学科・入学年度の適用表を参照し、**必修科目及び選択科目（2系列以上にわたって4科目（8単位）以上）を履修してください。**さらに、人文学部文化学科・歴史学科の学生は、「博物館実習Ⅰ・Ⅱ」の分野別に履修を求められる授業科目があります。（p.110参照）

なお、本学において博物館学芸員課程を履修できる者は、人文学部文化学科、歴史学科又は理学部の学生及び当該学部学科の卒業生に限ります。

（注）「福岡大学博物館学芸員課程に関する規程（p.128）」も参照のこと。

3 博物館学芸員課程の諸手続きと年間スケジュール（2026年度入学生）

各種説明会等の詳細はFUポータル「お知らせ」等で確認してください。
2026年度入学生の今後のスケジュールは以下のとおりです。

（1年次）

2027年3月中旬	博物館学芸員課程説明会 成績発表 次年度 Web 履修登録
-----------	-------------------------------------

(2年次)

2027年4月上旬	「博物館学芸員課程履修申込書」提出
4月下旬	受講料納入（新規受講者のみ）
12月上旬	「博物館実習分野希望申込書」提出（人文学部のみ）
2028年3月中旬	成績発表 次年度 Web 履修登録

(3年次)

2028年4月上旬～9月	「博物館実習簿」購入
9月中旬	「博物館実習Ⅰ」講義開始（含む、見学実習）
10～12月頃	次年度「博物館実習申込書」提出
2029年3月中旬	成績発表 次年度 Web 履修登録

(4年次)

2029年4月上旬	「博物館実習Ⅱ」講義開始
4月下旬	博物館実習費納入
4～6月頃	実習館決定
7～9月頃	博物館実習（実務実習）
9月頃（実習終了後）	「博物館実習簿」提出
2030年1～2月	「博物館実習簿」返却
2月	成績発表・再試験受付

4 博物館学芸員課程科目の履修について

(1) Web 履修登録について

登録の方法は、学部の科目と同様に、Web 履修登録期間中に登録してください。また、科目表1～3 (p.112～114) に定めた授業科目の修得単位は、当該学部学科に開講している授業科目を除いては、卒業に必要な単位数に算入されず、1年間に登録できる制限単位数にも含まれません。

【登録変更について】

1年間に履修する科目については、あらかじめ前期授業開始前に通年、前・後期完結科目を全て登録しますが、後期の科目については、前期の成績を確認してから既に登録している履修科目を変更（削除・追加）することができます。登録の変更は定められた期間内にFUポータル「Web履修登録」より行うことが可能です。

（注意）通年開講科目については登録を変更することができません。また、登録変更が認められない科目もあります。

【登録撤回について】

前・後期開講後の3週間以内（決められた期間）に申し出れば、前・後期それぞれ2科目以内かつ8単位以内（学部の科目と合計）に限って履修登録を撤回できます（一部の科目を除く）。

（注意）撤回した科目の代わりに他の科目を追加登録することはできません。通年開講科目については、前期開講後の期間内でしか撤回できません。なお、夏季休業中に開講されるものは、前期の撤回期間中のみ撤回することができます（夏季休業中に開講される後期集中講義科目は、講義開始後に撤回することはできません）。

- ・「博物館実習Ⅰ」の後期追加登録は担当教員の事前の了解が必要です。
- ・「博物館実習Ⅱ」は実習館との内諾等があるため、登録撤回できません。

(2) 受講料について

博物館学芸員課程科目を履修する者は、「福岡大学博物館学芸員課程に関する規程」(第5条)に基づき受講料を納入しなければなりません。納入期間は、4月下旬です。詳細についてはFUポータルの「お知らせ」等にてお知らせします。また、いったん納入した受講料は返還できません。なお、受講料とは別に「博物館実習Ⅱ」の履修者は博物館実習費の納入が必要です。

〈納入金額〉

博物館学芸員課程受講料	12,000円
-------------	---------

「**博物館学芸員課程履修申込書**」を提出した年度に納入してください。納入後は、博物館学芸員課程のために必要な科目については、単位を修得するまで何度でも履修することができ、この受講料は卒業するまで有効です。

〈納入方法〉

4月下旬の指定された納入期間に、証明書自動発行機にて納入してください。なお、納入した際に出力される受領証は紛失しないように保管しておいてください。

(3) 試験について

博物館学芸員課程のために設けられた科目の試験は、定期試験期間中に実施されます。

注意1：次のⅠ・Ⅱに該当する科目は定期試験を実施しません。したがって再試験も実施しません。

【Ⅰ】 演習、演習及び論文、実習、実験及びその他これに準ずるものと認められた授業科目

【Ⅱ】 2026年度開講期間内に適正な成績評価を行うことが可能であると認められた授業科目

【Ⅰ】	博物館資料保存論	博物館実習Ⅰ	博物館実習Ⅱ
【Ⅱ】			

注意2：博物館学芸員課程に必要な科目について、試験の結果が不合格でも、再試験を受験することができる場合があります。ただし、上記の定期試験期間中に試験を実施しない科目については、再試験を実施しませんので注意してください(福岡大学成績考査規程を参照のこと)。

5 博物館実習について

法令上の「博物館実習」にあたる本学の授業科目は「博物館実習Ⅰ」と「博物館実習Ⅱ」です。「博物館実習Ⅰ」は講義・見学実習、「博物館実習Ⅱ」は講義・見学実習・実務実習から成っています。また、「博物館実習Ⅰ・Ⅱ」は、4分野(美術・民俗・歴史・理系)に分かれ、分野別に講義・実習が行われます。

(1) 履修資格

履修条件科目は次表のとおりです。前年度までに履修条件を満たしていない者は履修できません。履修条件科目については時間割が卒業必修科目等と重なることがないように計画的に履修してください。(科目表1～3(p.112～114)参照)

授業科目	年次	履修条件科目
博物館実習Ⅰ	3	「博物館概論」「博物館資料論」「博物館教育論」のうちから1科目2単位以上修得済みのこと。
博物館実習Ⅱ	4	「博物館概論」「博物館資料論」「博物館教育論」のうちから2科目4単位以上、及び「博物館実習Ⅰ」2単位を修得済みのこと。

(2) 博物館実習費

博物館実習費	6,000円
--------	--------

「博物館実習Ⅱ」の履修者は**博物館実習費**を納入してください。納入期間は4月下旬の予定です。詳細については、FUポータルの「お知らせ」等にてお知らせします。なお、交通費やその他の現地調査等に要する費用は実習費とは別に自己負担となります。

(3) 博物館実習簿・博物館実習生調査票

「博物館実習Ⅰ」の履修年度に、第一売店で「博物館実習簿」を購入してください。

「博物館実習Ⅰ」で使用した実習簿は、引き続き「博物館実習Ⅱ」でも使用します。「博物館実習Ⅱ」を履修する年の4月中旬には実習簿に綴じ込みの「博物館実習生調査票」を記入し、写真を貼付して教職課程教育センターに提出してください。実習簿は「見学実習」・「実務実習」の終了後、担当教員又は教職課程教育センターの指示に従い、大学に提出してください。

(4) 保険加入について

「博物館実習Ⅰ・Ⅱ」では、学外施設で実習を行いますので、次の2種類の保険の加入をお願いしています。加入方法については実習前にご案内します。なお、博物館実習中に高価な美術品や貴重な資料を破損した場合は適用される保険がありませんので、実習中は事故がないよう細心の注意を払ってください。

- ・ 学生教育研究災害障害保険の通学中等障害危険担保特約
- ・ 学研災付帯賠償責任保険（Aコース）

(5) 「博物館実習Ⅰ・Ⅱ」の3分野について（人文学部）

「博物館実習Ⅰ・Ⅱ」は原則として下表に示す3分野に分かれ、分野別に講義・実習が行われます。分野の説明等は「博物館実習Ⅰ」を履修する前年度（2年次）の12月頃、ご案内します。なお、履修希望者は「博物館実習分野希望申込書」の提出が必要です。また「博物館実習Ⅱ」も同じ分野を履修しなければならず、途中で分野を変更することはできません。

【「博物館実習Ⅰ・Ⅱ」の3分野】

美術系	原則として、文化学科の学生対象。 3年次までに「日本美術史」「日本美術論」「芸術A」「芸術B」を修得することが望ましい。また、「西洋美術史」「西洋美術論」も修得することが望ましい。
民俗系	原則として、文化学科の学生対象。 3年次までに「民俗文化論」、また「文化人類学特講」「社会人類学」を修得することが望ましい。
歴史系	原則として、歴史学科の学生対象。 3年次までに「歴史学資料論A」「歴史学資料論B」および「文化財学概論A」「文化財学概論B」、また「考古学方法論A（含、実習）」「考古学方法論B（含、実習）」を修得することが望ましい。

(6) 見学実習について

担当教員の引率・指導のもとで博物館・資料館・美術館・科学館等における展示物の見学等が予定されています。交通費・入館料等の諸経費は自己負担となります。

なお、見学実習終了後、担当教員の指示に従い、「博物館実習簿（見学実習日誌）」に見学の内容・感想等を記入して担当教員に提出してください。

(7) 実務実習について

実習館から指定された日時、その他の注意事項を厳守してください。また、就職活動等による欠席は認められません（博物館実習簿のⅢ、実務実習の心得を熟読のこと）。

なお、実務実習終了後、「博物館実習簿（実務実習日誌）」に実習の内容やレポートを記入して、教職課程教育センターに提出してください。

【人文学部】

4年次「博物館実習Ⅱ」の履修年度に、主として夏季休業中2週間程度、又は学期中を通じて10日間程度、外部施設（博物館・美術館等）において、学芸員から実務の指導を受けます。

なお、実習館の決定は「博物館実習Ⅰ・Ⅱ」の分野、本人の希望等を考慮したうえで、実習を受諾された館に振り分けます。実習館の受入人数に制限等があるため、希望どおりにはならない場合もあります。

【理学部】

4年次「博物館実習Ⅱ」の履修年度に、主として夏季休業中に2週間程度、外部施設（博物館、科学館等）における「実務実習」を行い、さらに本学において実務実習の事前・事後指導を行います。

実習館の受入人数に制限等があるため、実習館の決定については希望どおりにならない場合もあります。また、実習館によっては書類選考が行われます。

6 学芸員の証明書について

本学の博物館学芸員課程において、学芸員の資格取得に必要な科目の単位を修得した者（又は見込の者）には、「学芸員資格取得（見込）証明書」及び「博物館学芸員課程単位修得証明書」を発行します。教職課程教育センターでお申し込みください。

7 その他

- (1) 博物館学芸員課程に関する連絡は、FUポータルの「お知らせ」等で行います。毎日確認してください。
- (2) 各種手続きを怠ったり、説明会を無断で欠席したりした場合は、博物館学芸員課程の履修を放棄したものとみなします。やむを得ない理由がある場合は、事前に教職課程教育センターに連絡してください。
- (3) 本学の博物館学芸員課程については、「福岡大学博物館学芸員課程に関する規程（p.128）」も参照してください。

(科目表1) 人文学部文化学科 2026年度入学生適用

博物館法施行規則に定める科目		本学における授業科目	単位	配当年度	科目の設置学部・学科等
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論 A	2	2	文化学科
	博物館概論	博物館概論	2	2	〃
	博物館経営論	博物館経営論	2	2	博物館学芸員課程科目
	博物館資料論	博物館資料論	2	2	文化学科
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	3	博物館学芸員課程科目
	博物館展示論	博物館展示論	2	3	〃
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	2	〃
	博物館教育論	博物館教育論	2	2	文化学科
	博物館実習	博物館実習 I	2	3	博物館学芸員課程科目
		博物館実習 II	2	4	〃
博物館に関する科目 (二系列以上・四科目以上)	文化史	日本の文化と歴史 A	2	2	文化学科
		日本の文化と歴史 B	2	2	〃
		日本の文化と歴史 C	2	2	〃
		日本の文化と歴史 D	2	2	〃
		東洋の文化と歴史 a	2	3	〃
		東洋の文化と歴史 b	2	3	〃
		西洋の文化と歴史 a	2	3	〃
		西洋の文化と歴史 b	2	3	〃
		ユーラシア史	2	3	〃
		美術史	日本美術史	2	2
	日本美術論		2	2	〃
	西洋美術史		2	2	〃
	西洋美術論		2	2	〃
	考古学				
	民俗学	文化人類学特講	2	2	文化学科
		社会人類学	2	2	〃
		文化地理学	2	2	〃
		社会地理学	2	2	〃
	自然科学史	民俗文化論	2	2	〃
		科学思想史	2	2	文化学科
物理学	科学・技術と社会	2	2	〃	
生物学					
地学					

(科目表 2) 人文学部歴史学科 2026年度入学生適用

博物館法施行規則に定める科目		本学における授業科目	単位	配当年度	科目の設置学部・学科等
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論A	2	2	教職課程科目
	博物館概論	博物館概論	2	2	歴史学科
	博物館経営論	博物館経営論	2	2	〃
	博物館資料論	博物館資料論	2	2	〃
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	3	博物館学芸員課程科目
	博物館展示論	博物館展示論	2	3	〃
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	2	〃
	博物館教育論	博物館教育論	2	2	〃
	博物館実習	博物館実習Ⅰ	2	3	〃
		博物館実習Ⅱ	2	4	〃
博物館に関する科目 (二系列以上・四科目以上)	文化史	歴史学資料論A	2	2	歴史学科
		歴史学資料論B	2	2	〃
		日本の文化と歴史A	2	2	〃
		日本の文化と歴史B	2	2	〃
		日本の文化と歴史C	2	2	〃
		日本の文化と歴史D	2	2	〃
		東洋の文化と歴史a	2	2	〃
		東洋の文化と歴史b	2	2	〃
		西洋の文化と歴史a	2	2	〃
		西洋の文化と歴史b	2	2	〃
		ユーラシア史	2	2	〃
	美術史	日本美術史	2	3	歴史学科
		日本美術論	2	3	〃
		西洋美術史	2	3	〃
		西洋美術論	2	3	〃
	考古学	考古学概説A	2	1	歴史学科
		考古学概説B	2	1	〃
		考古学方法論A(含、実習)	2	2	〃
		考古学方法論B(含、実習)	2	2	〃
考古学特講A		2	3	〃	
考古学特講B		2	3	〃	
考古学特講C		2	4	〃	
考古学特講D		2	4	〃	
文化財学概論A		2	2	〃	
文化財学概論B		2	2	〃	
民俗学	文化人類学特講	2	2	歴史学科	
	社会人類学	2	2	〃	
	文化地理学	2	3	〃	
	社会地理学	2	3	〃	
自然科学史	科学思想史	2	2	歴史学科	
	科学・技術と社会	2	2	〃	
物理学					
化学					
生物学					
地学					

(科目表3) 理学部 2026年度入学生適用

博物館法施行規則に定める科目		本学における授業科目	単位	配当年度	科目の設置学部・学科等	
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論 A	2	2	教職課程科目	
	博物館概論	博物館概論	2	2	博物館学芸員課程科目	
	博物館経営論	博物館経営論	2	2	〃	
	博物館資料論	博物館資料論	2	2	〃	
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	3	〃	
	博物館展示論	博物館展示論	2	3	〃	
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	2	〃	
	博物館教育論	博物館教育論	2	2	〃	
	博物館実習	博物館実習 I	2	3	〃	
		博物館実習 II	2	4	〃	
博物館に関する科目	文化史					
	美術史					
	考古学					
	民俗学					
	自然科学史					
	物理学	地球流体力学		2	3	物理科学科
		地球流体力学 I		2	3	地球圏科学科
		地球流体力学 II		2	3	〃
		地球物理学		2	4	物理科学科
		大気環境物理学		2	1	〃
大気環境物理学 I			2	2	地球圏科学科	
化学	化学 A		2	1	物理科学科	
	化学 B		2	1	〃	
	基礎化学 I		2	1	地球圏科学科	
	基礎化学 III		2	2	〃	
生物学	*生物学 A		2	2	物理科学科・化学科 博物館学芸員課程科目	
	*生物学 B		2	2	〃	
	*基礎生物学 I		2	1	地球圏科学科	
	*基礎生物学 II		2	1	〃	
地学	*地学 A		2	1	物理科学科・化学科 博物館学芸員課程科目	
	*地学 B		2	1	〃	
	*基礎地学 I		2	1	地球圏科学科	
	*基礎地学 II		2	1	〃	

(注) 1. *印の該当科目は必ず履修してください。

2. 応用数学科の学生は、博物館学芸員課程科目として開講している「生物学 A・B」および「地学 A・B」を修得してください。